

ITER (イーター: 国際熱核融合実験炉) 計画

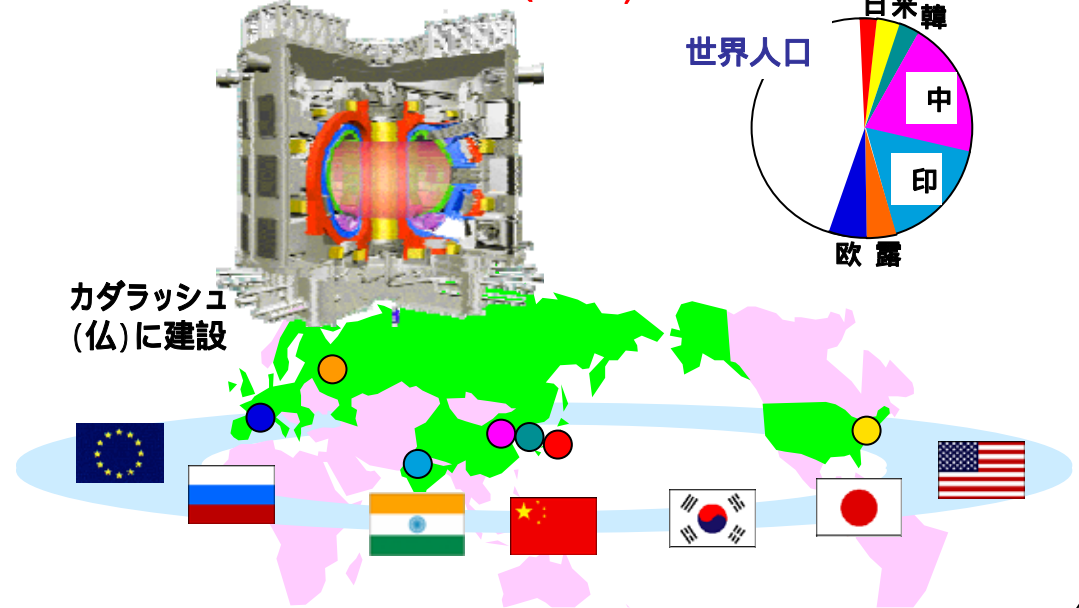
添付資料

核融合燃焼の科学的・技術的可能性の実証を目指す7極の国際プロジェクト

経緯・計画

- 1985年11月 米ソ首脳会談
- 1988～1990年 概念設計活動
- 1992～2001年 工学設計活動
- 2001年11月 政府間協議開始
- 2006年11月 ITER協定の署名
- 2007年5月 ITER協定、BA協定の国会承認
- 2007年6月 BA協定の発効
- 原子力機構がBA協定の実施機関に指定
- 2007年10月 ITER協定の発効
- 原子力機構がITER協定の国内機関に指定
- 2007年 建設開始(10年間)(予定)
- 2017年 運転開始(20年間)(予定)

国際熱核融合実験炉 (ITER)



総経費 約1.7兆円*
* 1ユーロ151円(2006年10月末時点)で換算した場合

日本の分担割合
建設期: 9.1%、運転期: 13%

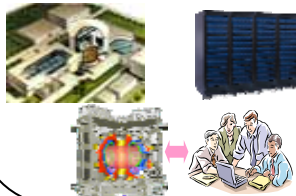
7極(世界人口の半分以上)がITER計画を担う

幅広いアプローチ(BA)活動

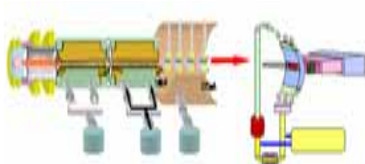


ITER計画を支援、補完する日欧の研究開発プロジェクト
(原子力機構青森研究開発センター、那珂核融合研究所で実施)

国際核融合エネルギー
研究センター



国際核融合材料照射施設
の工学実証工学設計活動



サテライトトカマク



核融合原型炉

